



一緒に創ろう 元気あふれるまち ~ヒノから未来を~



<https://yoshiki-nakajima.com/>



中島よしき



変えるための挑戦
変わるための挑戦

A Challenge to Change

編集・発行

中島よしきを応援する会

〒191-0003

日野市日野台1-9-22

TEL 042-586-5951

2022.08

市民の声をカタチに!

市政への疑問・質問、地域でのお困りごとなど、お気軽にお聞かせください!

中島よしきプロフィール

1981年11月6日生 [日野台在住] / 順天堂大学スポーツ健康科学部 卒業 / 株式会社コグド(現西武・プリンスホテルズワールドワイド) / ブルデンシャル生命保険株式会社 / 平成22年 日野市議会議員選挙 初当選(1,137票) / 平成26年 日野市議会議員選挙 2期目当選(1,239票) / 平成30年 日野市議会議員選挙 惜敗(1,274票) / 平成30年 日野自動車株式会社 入社 / 令和3年 日野自動車労働組合 特別執行委員 / 令和4年 日野市議会議員選挙 3期目当選(1,807票)

中島よしきの

日々の活動

〈2022年2月~2022年6月〉

Facebookでも発信中!

2.28
2022



無所属を中心とする3人で
新会派「チームみらい」を結成

4.11
2022



春の交通安全運動
(カーブミラー清掃)

第1回市政報告会&
意見交換会を開催(日野台)

5.28
2022



6.15
2022



グラウンド・ゴルフ大会(団体戦)参加

3.19
2022



日野市議会ウクライナ
人道支援募金活動

2022
5.13



市内民間保育園との
意見交換

2022
5.16



会派視察「ニツ塚廃棄物
広域処分場」など(日の出町)

浅川クリーンキャンペーン参加
(連合南多摩地区協議会)



2022
6.25

働く現役世代(支え手)の負担軽減を、健康寿命の延伸と医療費の抑制について

令和4年第2回定例会 ● 一般質問

中島 医療費の削減にもつながる健康寿命の延伸施策は、労働人口が減少していく中、働く現役世代の負担を軽減することにもつながる重要な施策の一つであると考えています。

2025年、2040年問題を見据えた取組、成果について伺います。

健康福祉部長 扶助費の伸びを抑制することは、自治体経営の重要なテーマだと考えており、健康寿命延伸、健康医療情報の分析や活用といった取組などを行っています。健康づくり、がん対策、歯とお口の健康づくりを計画の柱とし、各種事業を展開しています。

中島 医療費が増大し、労働人口が減少する中では、具体的・抜本的な削減策、健康施策を重点的に取り組む必要があると思います。

高齢者の皆さんは特に運動機能と認知機能の低下が進行しやすいため、フレイル予防などにより要介護者を減らしていくことが、2040年に向け大きな課題だと思います。

中島 日野市の要支援、要介護と認定された高齢者の割合について伺います。

健康福祉部参事 要支援者の割合は、前期高齢者は1.67%、後期高齢者は11.9%。要介護者の割合は、前期高齢者は3.01%、後期高齢者は21.17%です。ともに増加傾向であり、平成12年度と令和2年度比では約2倍になっています。

中島 介護が必要になった主な原因は、筋力の低下によるリスクが高いと言われています。一方、人と人との絆が高まるほど、健康度が向上すると全国各地で実証されています。あらゆるコミュニティーを通じて、社会全体で予防していくことが大事だと思います。

中島 生活習慣病予防を含めた介護予防、フレイル予防に関する仕組みについて伺います。

健康福祉部参事 「互近助サービスちょこすけ」は、ちょっとした困り事のお手伝いや、生活支援サービスを行う、住民主体の団体の活動に対し、必要な経費の一部を助成する事業です。さらに介護予防、フレイル予防の活動に取り組む団体には、追加の助成をし、身近な団体による運動、栄養、口腔機能の向上の取組が広がることを期待しています。

中島 日常生活で最も注意すべきは、運動と栄養だと思っています。東京都の医師会でも、メタボ対策よりもフレイル予防が大切だとしており、筋肉の衰えに対して警鐘を鳴らしています。ぜひ、多くの市民を巻き込み、一緒に取り組んでいただければと思います。

中島 9月の健康増進普及月間について伺います。

健康福祉部長 啓発ポスター掲示、健康的な食生活について広報ひのコラムなどに掲載、子育て世代の健康づくりの周知、啓発も行っていきます。今後も、健康づくりのための教育や相談の機会を増やしていけるよう取り組みます。

中島 もう少し市民に対してPRしていただけないかと思います。例えば、スポGOMI甲子園というものは、全国の高校生が競技エリア内のごみを拾い、その質と量を競い合うとても地球に優しいスポーツで、楽しんで参加されているようです。職員の皆さんも、たまにはちょっと肩を下ろして、楽しく外に出てスポGOMIのような取組も一つアイデアだと思いますので、ポスター掲示とかだけにとどまらず、いろいろ挑戦していただきたいと思います。

中島 病気の方の割合が高い国民健康保険をベースとした取組から見えた効果と、庁内の推進体制について伺います。

市民部長 糖尿病性腎症重症化予防事業では、医療レセプトデータの分析から対象者を的確に抽出することができ、効率的に保健指導を実施しており、指導を終了された方で人工透析に至った方は出ておりません。また、前年度の特定健診結果から受診すべき対象者を抽出し、微量アルブミン尿検査を実施しています。

健康福祉部長 本年度より保険年金課、高齢福祉課、健康課が連携し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を開始しました。今後は庁内全体で、健康施策を推進していく体制づくりを検討していきたいと考えています。

中島 将来、日野市が負担するべき財源が、1人当たり10万円抑制することができれば、180億円を超える財源が必要なくなり、南平体育館の建設費の約6倍にもなるコストを削減することができます。

今年度は、第5次日野市基本構想・基本計画の2020プランの後継計画として、2030ビジョン・総合戦略が策定されます。

副市長2人体制、また新教育長の就任による、新たな執行体制の下で、健康寿命の延伸、医療費の抑制をはじめとする重要な政策課題、社会課題の解決への取組をより一層加速されることを期待しています。

市長 2025年、2040年問題は、大きな課題だと認識しており、さまざまな取組を行ってきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、その取組が大きく狂ってしまい、軌道修正が必要になっています。議員からそういう問題意識で、改めて問題提起していただいたと思っています。

新たにつくる2030プランにおいても、健康というのは大きなキーワードであり、2030年以降の近未来に向けて、問題意識を持ち、目標値が盛り込めるよう努力していかねばならないと感じたところです。

問題提起をいただいたことについて、逃げることなく、着実に前に向かって進めていきたいと思っています。

一般会計補正予算 14億6,458万3千円

原油価格・物価
高騰緊急対策事業 (6/20議決)

- | | |
|--------------------------|-----------|
| ① 給食食材費高騰への対応 | 約2,500万円 |
| ② キャッシュレス決済サービスを活用した経済支援 | 5億8,000万円 |
| ③ ものづくり事業者への電気料金支援 | 6,000万円 |